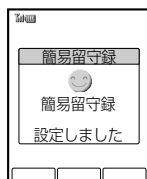
かかってきた電話を簡易留守録で受ける メモ長押し

電話に出られない場合、V301Tに相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞2-14ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

- 圏外時などに留守番電話センターがメッセージをお預かりする、留守番電話サービス（☞12-5、12-7、12-9ページ）とは異なります。

■簡易留守録を設定する

1 待受中に、上サイドキーを押す（約1秒以上）

▶簡易留守録が設定されます。
- 待受画面に「📼」が表示されます。

- 電源OFFの場合や圏外にいる場合、オフラインモード設定している場合、また着信禁止を設定している場合は、メッセージをお預かりできません。
- マナーモード（オリジナルマナー）設定中は、オリジナルマナーの簡易留守録設定（☞5-7ページ）が優先されます。マナーモード（オリジナルマナー）設定中に簡易留守録の設定／解除を行う場合は、オリジナルマナーの簡易留守録設定を変更してください。

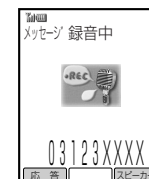
- 録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満の場合は「📼」が表示されます。
- 簡易留守録が設定されていなくても、着信音が鳴っているときに上サイドキー（メモ）を長く（約1秒以上）押す、または（留守録）を押すと簡易留守録が設定されます。
- **メニューから簡易留守録を設定するには…**
  メニューからの操作で簡易留守録を設定することができます。設定する場合は、○・4 2の順に押し、で「**留守録設定**」を選択し、●を押します。続いてで「**ON**」を選択し、●を押します。

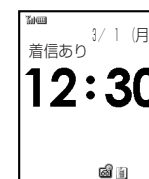
簡易留守録設定中に電話がかかってくると

1 着信音が鳴る

2 応答時間経過後、応答メッセージが流れる

3 相手のメッセージを録音

▶「ピーッ」という音のあと、相手の声を録音します。録音中は、レシーバーから相手の声が聞こえます。

4 録音終了

▶相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、「📼」が表示されます。
- お知らせ設定が「ON」の場合は、お知らせ一発メニュー（☞11-2ページ）が表示されます。
- 録音されたメッセージを再生するには、2-15ページを参照してください。

録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「📼」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「📼」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ）してください。

補足
- 自動着信（☞11-23ページ）が設定されていても、簡易留守録の応答が優先されます。ただし、録音が一杯になっているときは、自動着信が起動します。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に（応答）、、0～9、＊、＃のいずれかのボタンを押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは無効になります。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。
- メッセージ録音中に（スピーカー）を押すと、録音中のメッセージを背面スピーカーで聞くことができます。

■簡易留守録を解除する

1 簡易留守録設定中に、待受画面で上サイドキーを押す（約1秒以上）

▶簡易留守録が解除されます。

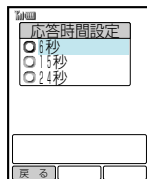
補足
- 録音された内容は、設定を解除しても記憶されています。
- **メニューから簡易留守録を解除するには…**
  メニューからの操作で簡易留守録を解除することができます。解除する場合は、◯•4 2の順に押し、◎で「**留守録設定**」を選択し、●を押します。続いて◎で「**OFF**」を選択し、●を押します。

■応答時間を変更する F42

簡易留守録に接続するまでの応答時間を、変更することができます。

例 「**24秒**」に設定する場合

1 ◯• 4 2 の順に押す

2 ◎で「応答時間設定」を選択し、●を押す

3 ◎で「24秒」を選択し、●を押す

▶応答時間が設定されます。

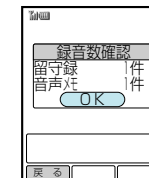
補足
- 簡易留守録と留守番電話サービス（☞12-5、12-7、12-9ページ）の両方を設定した場合には、応答時間の短い方を優先してメッセージをお預かりします。
- 簡易留守録と留守番電話サービスの応答時間が同じに設定されている場合は、留守番電話サービスが優先してメッセージをお預かりします。

■録音件数を確認する F40

簡易留守録や音声メモの録音件数を確認することができます。

例 留守録メッセージと音声メッセージが1件ずつ録音されている場合

1 ◯• 4 0 の順に押す

▶現在の録音件数が表示されます。
待受画面に戻るときは、Powerを押してください。

補足
簡易留守録の再生のしかたは、簡易留守録や音声メモを再生する（☞2-15ページ）を参照してください。